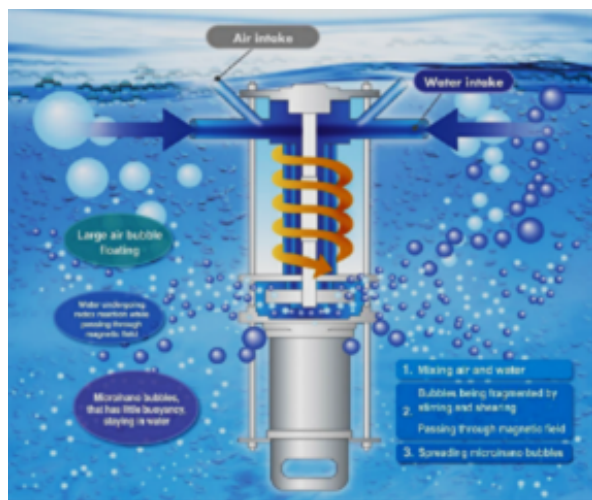


# 新しい分野の水活用を創造した ウルトラファインバブル技術



## 生存率向上、成長促進するファインバブル養殖技術



水の分子をナノ化することで、水の性質は大きく変化します。ナノバブルとは、水中に長時間存在するナノメートル(10億分の1m)の単位の極小の泡のことを指します。最近の定義では、ナノバブルはウルトラファインバブルという呼称に統一されました。ウルトラファインバブルは日本の養殖産業での活用を目的として開発された日本発明の技術です。このウルトラファインバブルを養殖場で活用することで溶存酸素が増大し、水質の浄化と、魚介類の生存率を高め、成長促進効果が得られることから、多くの養殖場での採用が普及しています。